目次

安全に関する注意事項

- 製品をお使いになる前に、本取扱説明書をよくお読みください。
- 本取扱説明書は、すべてのユーザーが後日参照できるように保管してください。機器を第三者に渡す場合は、必ず本取扱説明書も一緒に渡してください。
- 道路を歩く場合や手作業の際など、特別な注意が必要な状況では、製品を使用しないでください。
- 製品は常に乾燥した状態に保ち、著しく低温または高温な場所には置かないでください（最適温度 : 0°C 〜 40°C）。
- 製品は丁寧に取り扱い、汚れやほこりのない場所に保管してください。
- バッテリーを保護するために、使用後は製品の電源を切り、製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
- ヘッドホンにより磁場が作り出され、心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着者に危険を及ぼす場合があります。ヘッドホンは、心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器からは最低 3 cm（1.2 インチ）離してお使いください。
- 大音量での使用は避けて下さい。
- 付属のゼンハイザー 電源ユニットのみをお使いください。
- 製品は水の近くでは使用しないでください。製品を雨や湿気にさらさないでください。火災や感電につながる危険があります。
- 次の場合は、電源ユニットをコンセントから外してください。
  - 製品を電力網から切断する場合
  - 雷雨の場合
  - 製品を長期間使用しない場合
- 電源ユニットには、33 ページの「技術データ」の章の記載に適合する電源タイプのみをお使いください。
- 電源ユニットについては、以下の点に注意してください。
  - 正常な状態で使用可能な状態であること。
  - コンセントにしっかり差し込まれていること。
  - 許容温度範囲内で動作していること。
  - 覆ったり、長時間直射日光にさらさないこと。覆ったり、長時間直射日光にさらすと、過熱することがあります（33 ページの「技術データ」を参照してください）。
- 製品は熱源の近くでは使用しないでください。
- ゼンハイザーが推奨する付属機器 / アクセサリのみをお使いください（32 ページの「アクセサリと交換部品」を参照してください）。

交換部品

交換部品を取り付ける必要がある場合は、サービス担当技術者に依頼してください。また、ゼンハイザーが推奨する交換部品、または、元の部品と同じ特性の交換部品だけをお使いください。認可されていない交換部品を使用すると、火災や感電などの危険につながることがあります。

規定に沿った使用

製品は、次のように正しくお使いください。

- 本取扱説明書、特に、2 ページの「安全に関する注意事項」の章をお読みください。
- 製品は、取扱説明書にあるとおり、操作条件に従ってお使いください。

製品は、本取扱説明書に記載された以外の使い方や、操作条件を遵守しない使い方はしないでください。

NiMH(ニッケル水素) バッテリーの安全上の注意事項

バッテリーを正しく使用しないと、バッテリーが漏れることがあります。バッテリー漏れがひどい場合は次の危険があります :

- 発熱
- 発火
- 爆発
- 煙やガスの発生

バッテリーの誤用または規定に沿わない使用の場合は、ゼンハイザーはいかなる責任も負いません。

	バッテリーは、子どもの手の届かない場所に保管してください。		ゼンハイザーが推奨するバッテリーのみをお使いください。
	極性にご注意ください。		ショートさせないでください。
	濡らさないでください。		バッテリーを装着した製品は、使用後に電源を切ってください。
	完全に充電した電池と充電されていない電池を一緒に置かないでください。		長期間使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電してください（約 3 ヶ月ごと）。
	バッテリーは、10°C/50°F ～ 40°C/104°F の温度環境でのみ充電してください。		70°C/158°F を超える温度にならないようにしてください。直射日光に当てたり、火に投げ込んだりしないでください。
	分解したり改造しないでください。		故障したバッテリーは使用しないでください。
	製品に明らかな故障がある場合は、バッテリーを直ちに取り外してください。		使用済みのバッテリーは必ずゴミ収集所に廃棄するか、または、専門業者に返却してください。

デジタルワイヤレスヘッドホンシステム RS 180

RS 180 は、さまざまな機能を備えたワイヤレスヘッドホンシステムです。透明感のあるバランスの良い音質と大変優れた低音域の再生は、HiFi 機器、ホームシアター機器、または、テレビ用に最適です。

バッテリーはヘッドホンで簡単に充電できます。素晴らしい音質、優れたデザイン、最高の快適性をお届けします。

ワイヤレスヘッドホンシステム RS 180 のその他の特長

- 2.4 GHz 無線帯域を利用した、妥協のないサウンド伝送。邪魔になるケーブルを使わずに、素晴らしい音楽をお楽しみいただけます。
- 高機能ネオジウムマグネットを装備したダイナミックトランスデューサーで、細かい音も逃さないクリアなオーディオ再生を実現します。
- Kleer 技術を採用。妥協のないデジタルワイヤレスオーディオ伝送で、原音の劣化のない CD 品質をお楽しみいただけます。
- 設定不要のプラグアンドプレイ機能。トランスミッターをお使いのオーディオ / ビデオ機器に接続し、ヘッドホンを装着して、オンにするだけです。
- 1 台のトランスミッター TR 180 で、最大 4 人まで同時に聴くことができます。

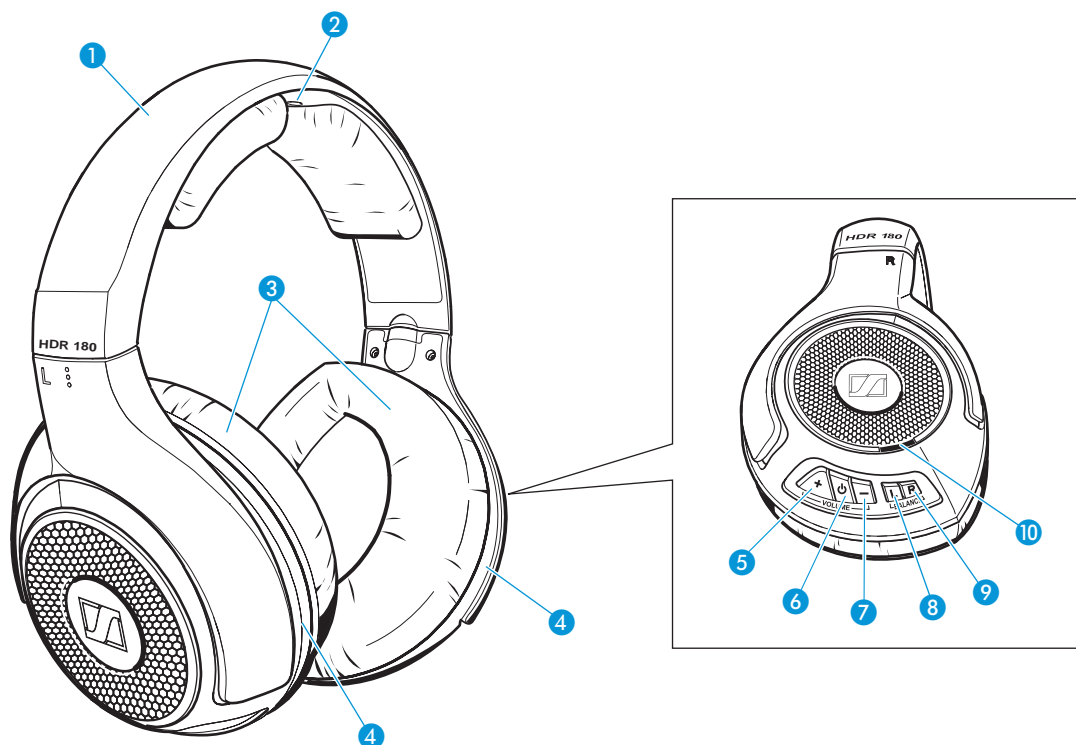
Kleer™ ワイヤレス技術

ワイヤレスヘッドホンシステム RS 180 は、Kleer 社のデジタルワイヤレス伝送技術を採用しています。Kleer 社は、同名の規格を開発して、この低消費電力伝送を可能にしました。音を逃さず最高の CD 品質を伝送します。

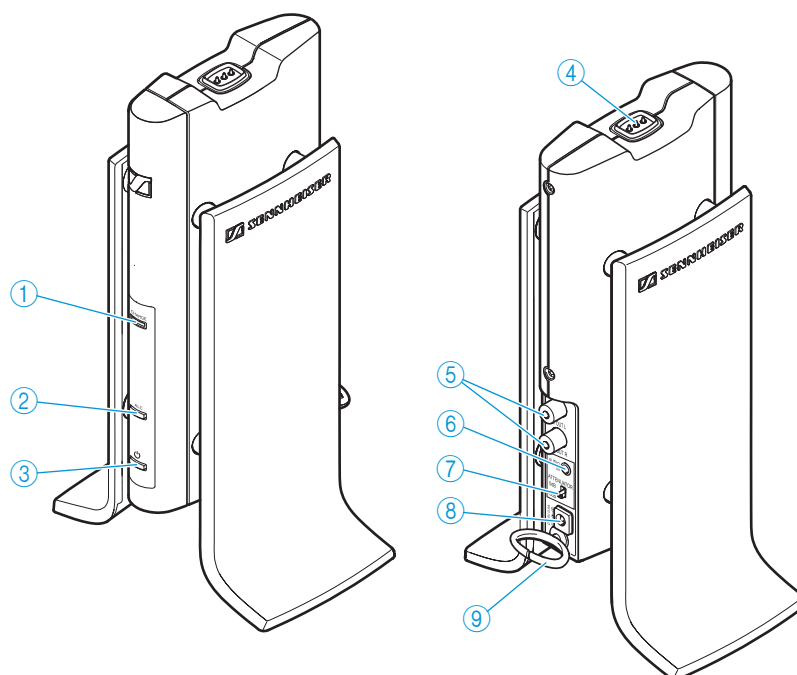
同梱されているもの

- ヘッドホン HDR 180 (x1)
- トランスミッター TR 180 (x1)
- 国別変換アダプター付き電源ユニット (x1)
- オーディオケーブル (x1)
- 変換プラグ 3.5 mm ジャック → 6.35 mm プラグ（x1）
- RCA ケーブル (x1)
- バッテリー、単 4 形 （x1）
- ケーブルガイド (x2)
- ケーブルスリーブ (x1)
- クイックガイド （CD-ROM）（x1）
- Safety Guide (x1)

製品の各部の名称

ヘッドホン HDR 180 の各部の名称

1. ヘッドバンド
2. 充電コンタクト
3. イヤークッション
4. バッテリー装着部
5. ボタン VOLUME（音量）+
6. 多機能ボタン ⏻
7. ボタン VOLUME（音量）–
8. ボタン BALANCE（バランス） L（左）
9. ボタン BALANCE（バランス） R（右）
10. 多機能 LED

多機能ボタン ⏻ 6 を使って、ヘッドホンをオンにしたり、スタンバイモードやマルチユーザーモードへの切り替え、消音、接続、登録ができます。

トランスミッター TR 180 の各部の名称

① LED 充電インジケータ（CHARGE（充電））【オレンジ色に点灯】

② ALC (自動レベル制御ボタン)【緑色に点灯】

③ 多機能ボタン ⏻【緑色に点灯】

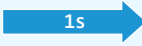
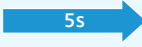
④ ヘッドホン用充電コンタクト

⑤ RCA 出力（LINE OUT R（ライン出力 右），
LINE OUT L（ライン出力 左））

⑥ オーディオ入力（AUDIO IN（オーディオ入力））

⑦ 入力アッテネータースイッチ（ATTENUATOR（アッテネーター））

⑧ 電源ユニット用ポート（DC 5V 0.5A）

⑨ ケーブルガイド

多機能ボタン ⏻ ③ を使って、トランスミッターをオンにしたり、スタンバイモードやマルチユーザーモードへの切り替え、接続、登録ができます。

インジケータと信号音について

それぞれの LED の絵記号の意味

状態	意味
	LED が点灯しています。
1s	LED が 1 秒に 1 回の間隔で点滅しています。
5s	LED が 5 秒に 2 回の間隔で点滅しています。

ヘッドホン上のインジケータ

インジケータ	状態	意味
多機能 LED ⑩	1s	バッテリーの残量が少なくなりました。
	1s	ヘッドホンが適切なトランスミッターを検出しています。
	1s	ヘッドホンがトランスミッターと接続しています。
	5s	ヘッドホンが信号を受信しています。

トランスミッター上のインジケータ

インジケータ	状態	意味
LED 充電インジケータ ①		バッテリーを充電中です。
	オフ	バッテリーは完全に充電されました。
ALC ボタン ②		ALC がオンです。
多機能ボタン ⏻ ③	オフ	トランスミッターはスタンバイモードになります。
	1s	トランスミッターが適切なヘッドホンを検出しています。
	1s	トランスミッターがヘッドホンと接続しています。
	5s	トランスミッターはシングルユーザーモードです。
	5s	トランスミッターはマルチユーザーモードです。

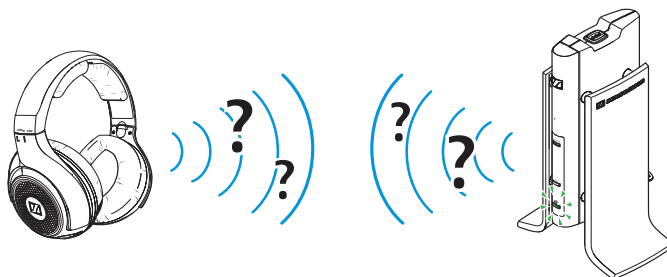
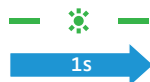
ヘッドホンの信号音

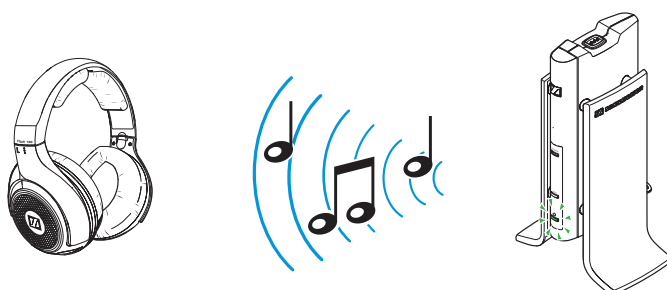
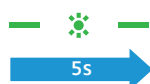
短い信号音 1 回	意味
	音量が最大です。
	音量が最小です。
	バランスが最小です。
	バランスが最大です。

接続方法について

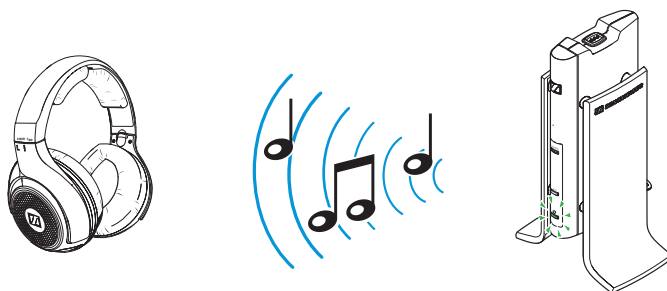
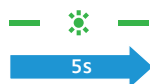
接続方法

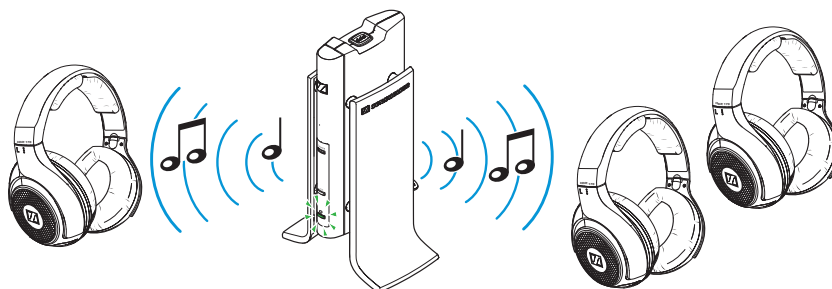
検出

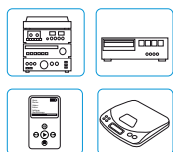
ヘッドホンとトランスミッターをオンにすると、ヘッドホンが適切なトランスミッターを検出します。

ペアリング

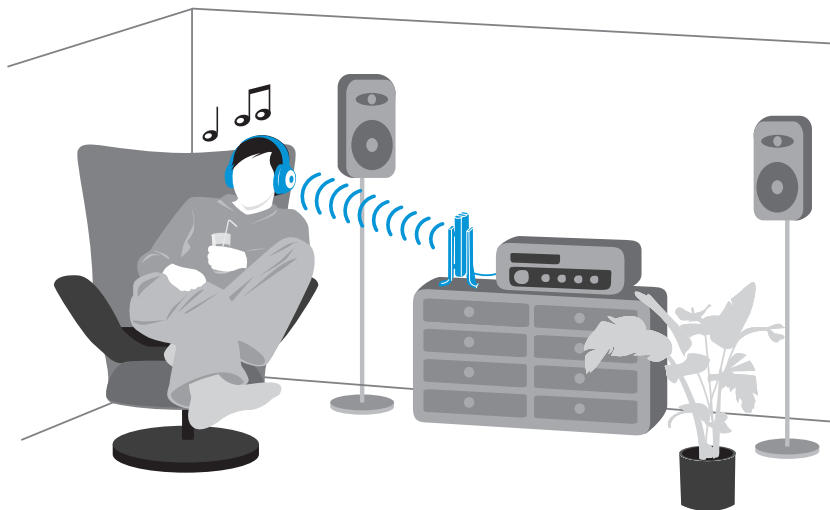
ヘッドホンとトランスミッターが相互に認識すると、ヘッドホンがトランスミッターに登録されます。

接続方法

シングルユーザーモード

ヘッドホンを使ってオーディオソースを聞きます。標準では、トランスミッターはシングルユーザーモードに設定されています（25 ページを参照してください）。

マルチユーザーモード

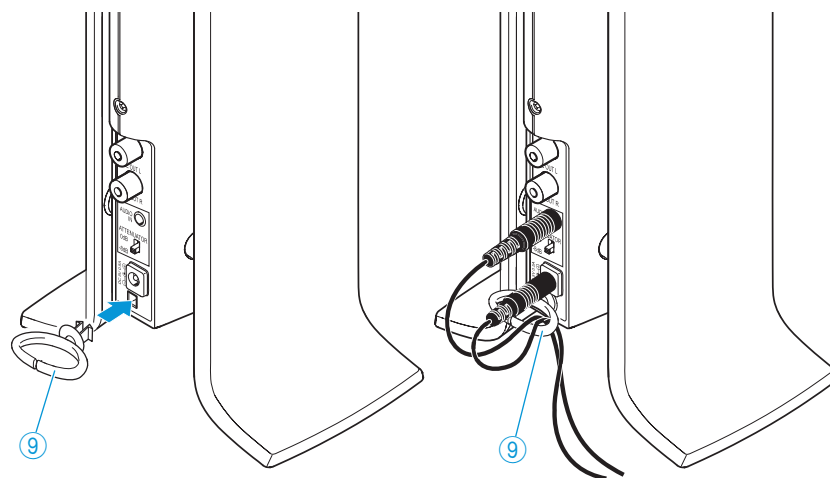
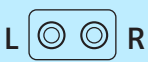
複数のヘッドホンを使ってオーディオソースを聞くには、トランスミッターのマルチユーザーモードをオンにします（28 ページを参照してください）。

RS 180 をオンにする

トランスミッターを設置する

▶ トランスミッターをオーディオソース（テレビ、ステレオ装置、ホームシアターなど）の近くに設置します。

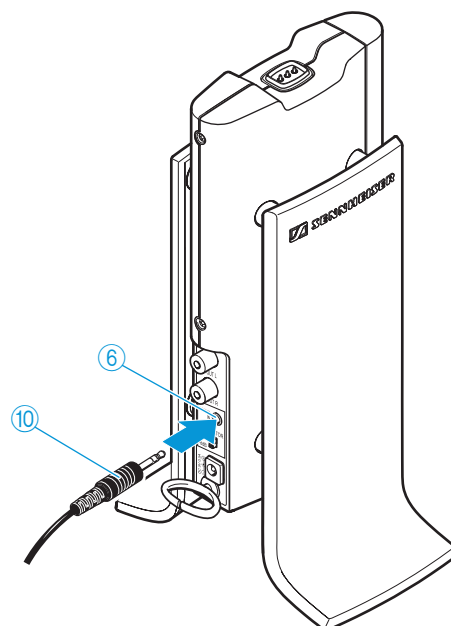
▶ トランスミッターをメタルラック、鉄筋コンクリートの壁またはその他の金属構造物の近くに直接設置しないでください。トランスミッターの帯域幅に影響を及ぼします。

トランスミッターはヘッドホンと同じ部屋に設置する必要はありません。家の中や庭を自由に移動できます。

ケーブルガイド

▶ ケーブルガイド ⑨ をトランスミッターの背面にある専用の開口部に差し込みます。

▶ ケーブルガイド ⑨ に接続したケーブルを通して、ケーブルが折れたり落ちないようにします。

▶ ケーブルスリーブを使って、ケーブルをまとめたり整頓します。

トランスミッターをオーディオソースに接続する

トランスミッター TR 180 は、テレビ、DVD プレイヤー、または、ステレオ装置など、さまざまなオーディオソースに接続することができます。

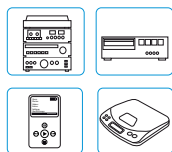
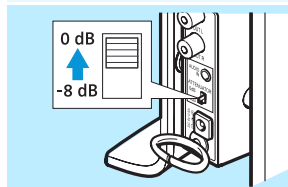
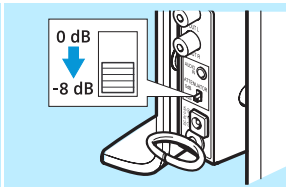
▶ トランスミッターを接続する前に、オーディオソースをオフにします。

▶ オーディオ接続ケーブル ⑩ をトランスミッターのオーディオ出力 ⑥ に差し込みます。

▶ 次のいずれかの方法でオーディオソースに接続できることを確認します。

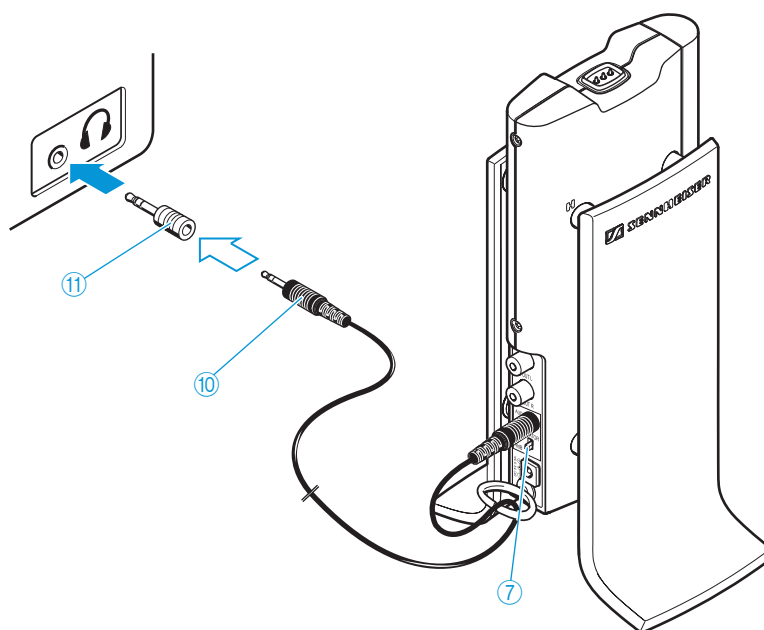
章	接続方法	記号
A		ヘッドホンソケット
B	L R	RCA ソケット（出力）

▶ 対応する章にある指示に従って、トランスミッターをオーディオソースに接続します。

A トランスミッターをヘッドホンソケットに接続する

オーディオソースのタイプに合わせて入力アッテネータースイッチ ⑦ を調整し、オーディオソースの信号を最適な状態にします。

ポータブルオーディオソース （MP3 プレイヤー、携帯電話）	固定式オーディオソース （音楽プレーヤー、アンプ）
▶ 入力アッテネータースイッチ ⑦ を「0 dB」に設定します。	▶ 入力アッテネータースイッチ ⑦ を「–8 dB」に設定します。

▶ オーディオソースでヘッドホン出力を中間音量に設定します。こうすることで、ワイヤレスサウンド伝送の品質を改善します。場合によっては、オーディオソースの設定を確認します。

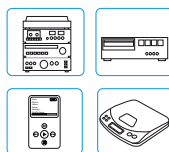
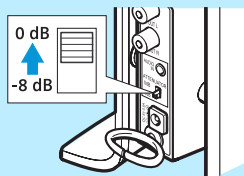
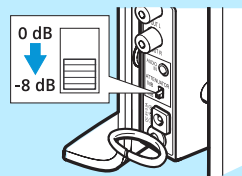
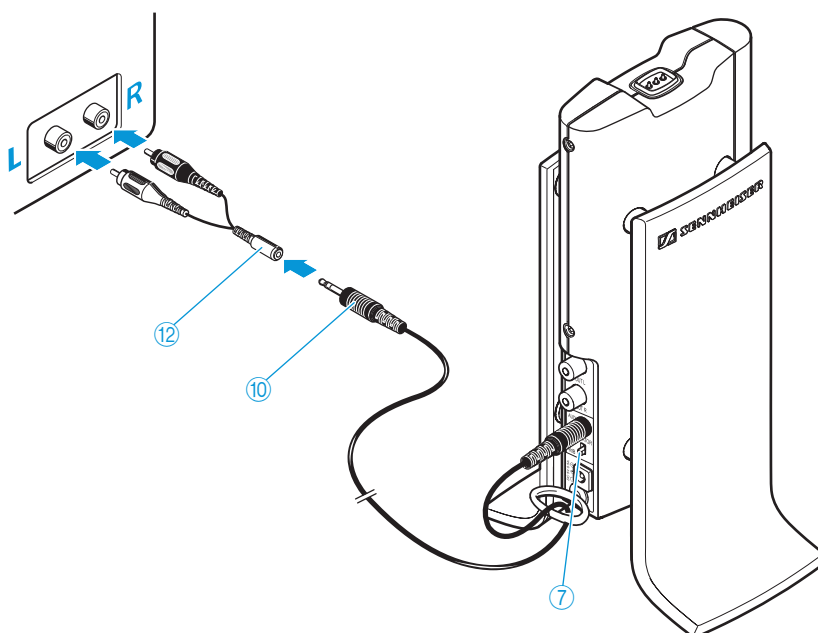
▶ オーディオ接続ケーブル ⑩ をオーディオソースのヘッドホンソケットに差し込みます。

オーディオ接続ケーブルのプラグ ⑩ が小さすぎてヘッドホンソケットに合わない場合は、6.35 mm ジャックプラグ ⑪ を差してからオーディオ接続ケーブルを差し込みます。

B トランスミッターを RCA ソケット (出力) に接続する

警告　大音量による危険！

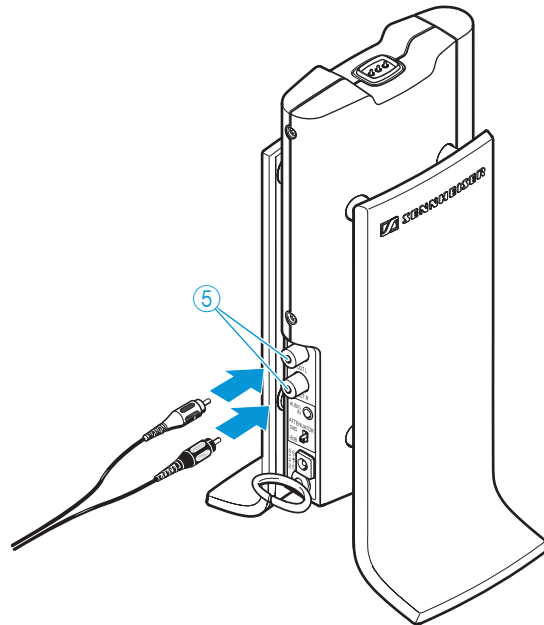
Sennheiser MX W1 などの音量調整を使わずに、その他の Kleer 対応ヘッドホンをトランスミッター TR 180 と併用すると、聴覚を痛めることがあります。

- ▶ この場合、トランスミッターはオーディオソースのジャックソケット (出力) ではなく、オーディオソースのヘッドホンソケットに接続してください。
- ▶ ヘッドホンを装着する前に、オーディオソースの音量を下げます。

オーディオソースのタイプに合わせて、入力アッテネータースイッチ ⑦ を調整し、オーディオソースの信号を最適な状態にします。

ポータブルオーディオソース（MP3 プレイヤー、携帯電話）	固定式オーディオソース（音楽プレーヤー、アンプ）
▶ 入力アッテネータースイッチ ⑦ を「0 dB」に設定します。	▶ 入力アッテネータースイッチ ⑦ を「–8 dB」に設定します。

- ▶ RCA ソケット用のオーディオアダプター ⑫ をオーディオ接続ケーブル ⑩ に差し込みます。
- ▶ オーディオアダプター ⑫ の赤いプラグをオーディオソースの赤いソケット R (右) に差し込みます。
- ▶ オーディオアダプター ⑫ の白いプラグをオーディオソースの白いソケットまたは黒いソケット L (左) に差し込みます。

オーディオソースに複数の RCA ソケットがある場合は、RCA ソケット (出力) を使用してください。

トランスミッターをオーディオ機器接続に追加する

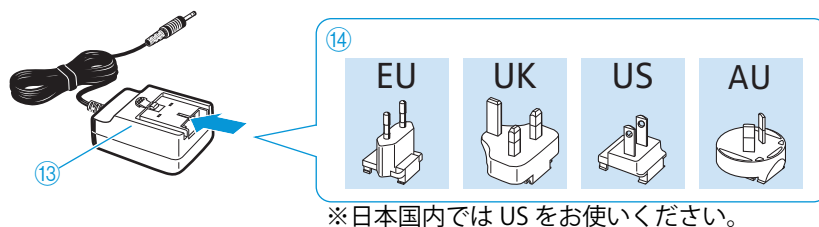
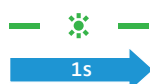
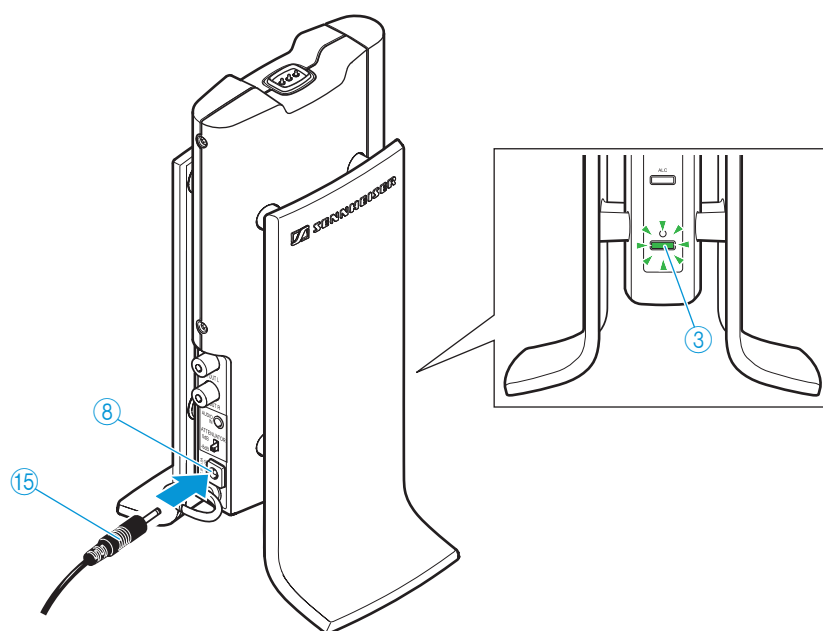
トランスミッターをオーディオソースとその他の機器（アンプなど）の間で確立した接続に追加する方法：

- ▶ その他の機器の RCA ケーブルが入力に接続していることを確認します（機器の取扱説明書を参照してください）。
- ▶ その他の機器の RCA ケーブルをトランスミッターの RCA 出力 ⑤ と接続します。

トランスミッターは電力網に接続したままにします。電力網から切断すると、オーディオソースとその他の機器の間の接続が切断されます。

トランスミッターを電源に接続する

▶ コンセントに合う国別アダプター ⑭ を選択します。

▶ 国別アダプター ⑭ を電源ユニット ⑬ に押して、しっかり収めます。

※日本国内では US をお使いください。

▶ 電源ユニットのプラグ ⑮ をポート ⑧ に差し込みます。

▶ 電源ユニット ⑬ をコンセントに差し込みます。
トランスミッターがオンになります。9 秒後トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ が緑色に点滅します。トランスミッターが適切なヘッドホンを検出します。

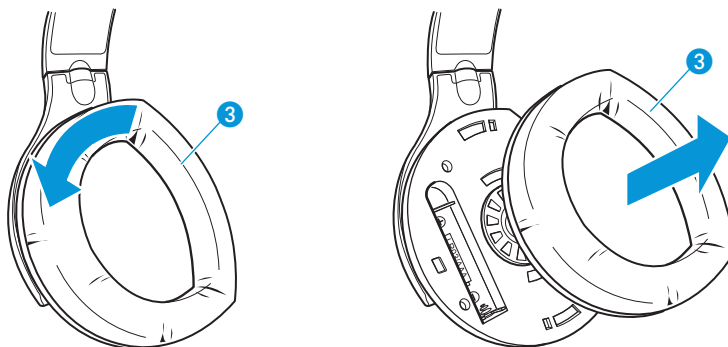
バッテリーをヘッドホンに取り付ける / バッテリーを交換する

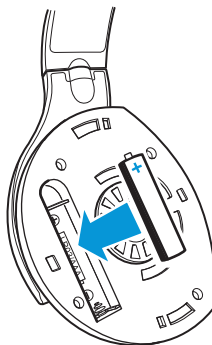
ヘッドホンの電源は次の方法で供給します :

- 乾電池（単 4 形、1.5 V）
- 充電式バッテリー（単 4 形、ニッケル水素、1.2 V, 600 mAh）

乾電池を使用する場合は、ヘッドホンはトランスミッターのホルダーに掛けないでください。

▶ 両方のイヤークッション ③ を矢印の方向に回します。その際には軽い抵抗があります。

▶ 両方のイヤークッション ③ をイヤーカップから取り外します。

▶ 必要な場合は、空のバッテリーを取り外します。

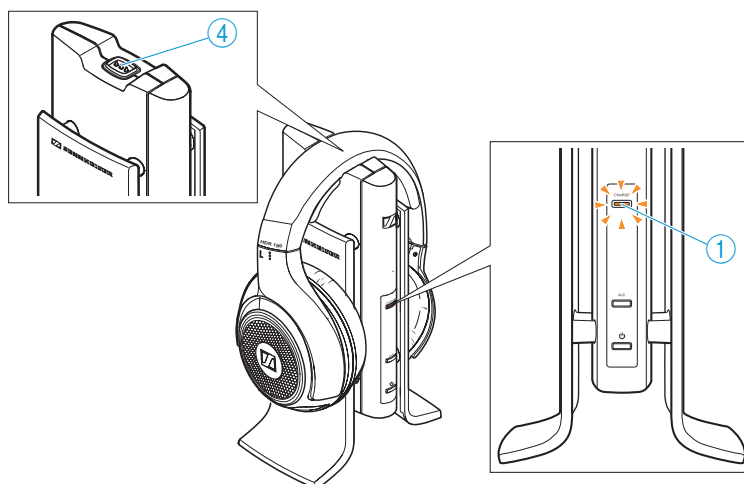
▶ バッテリーを取り付けます。バッテリーを取り付ける際には、極性に注意します。

▶ イヤークッション ③ を元に戻します。

バッテリーをヘッドホンで充電する

注意 **ヘッドホンの故障！**

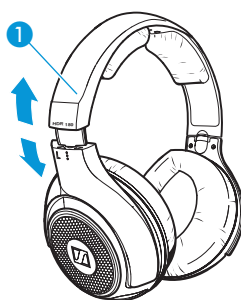
乾電池をヘッドホンに装着して、ヘッドホンをトランスミッターのホルダーに掛けると、バッテリーが漏れたり、ヘッドホンが故障することがあります。

▶ ヘッドホンをトランスミッターのホルダーに掛ける場合は、乾電池を取り外してください。

充電式バッテリーを初めて使用する場合は、最低 16 時間充電します。その後の充電時間は、充電前の使用時間の約半分になります。動作時間は最大 24 時間です。

▶ ヘッドホンをトランスミッターのホルダーに掛けます。ヘッドホンが充電コンタクト ④ に触れていることを確認します。
バッテリーが充電されます。LED 充電インジケータ ① がオレンジ色に点灯します。

バッテリーが完全に充電されると、LED 充電インジケータ ① が消灯します。

最適な充電状態にするために、ヘッドホンは常にトランスミッターのホルダーに掛けて保管します。

ヘッドホンのヘッドバンドを調整する

ヘッドホンを頭の大きさに合わせて調整して、優れた音質と快適な装着感を実現します。頭の大きさに合わせて、ヘッドバンド ❶ を段階的に調整します：

▶ ヘッドバンド ❶ が頭の中央になるようにヘッドホンを装着します。

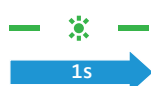
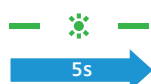
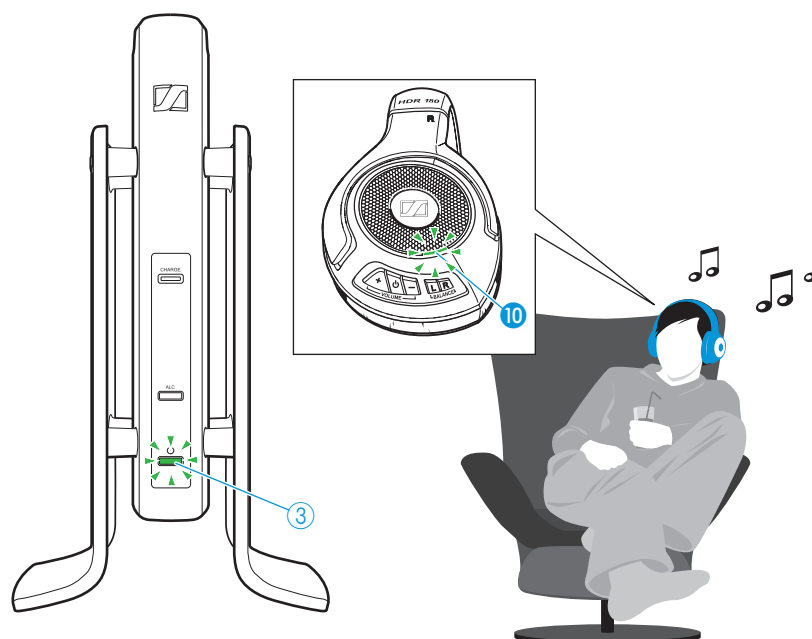
▶ ヘッドホンを次のように調整します。
- イヤークッションが耳を完全に覆うように調整します。
- 耳が軽く押されるような感じになるように調整します。
- ヘッドバンド ❶ が頭の上になるように調整します。

RS 180 を操作する

次の手順に従って、製品の電源を入れ、オーディオソースを聴きます：

操作の手順	ページ
1. バッテリーが装着されていることを確認します。	18
2. オーディオソースをオンにします。	–
3. トランスミッターをオンにします。	19
4. ヘッドホンをオンにします。	21
5. 音量を調整します。	22

トランスミッターをオン / オフにする

トランスミッターをオンにする

▶ 多機能ボタン ⏻ ③ を約 1 秒間押し続けます。
トランスミッターがオンになります。トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ が緑色に点滅します。トランスミッターが適切なヘッドホンを検出します。

トランスミッターが適切なヘッドホンを検出すると、トランスミッターはヘッドホンと接続して、オーディオ信号を伝送します。ヘッドホンの多機能 LED ⑩ とトランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ がゆっくりと点滅します。

トランスミッターをオフにする

▶ 多機能ボタン ⏻ ③ を約 1 秒間押し続けます。
多機能ボタン ⏻ ③ が消灯します。トランスミッターはスタンバイモードになります。

トランスミッターを電源から切断する：

▶ 電源ユニットを外して、トランスミッターを電源から切断します。その際には、ヘッドホンのバッテリーが充電されていないことを確認します。

ヘッドホンを 5 分を超えて通信範囲外に置いたり、または、オフにすると、トランスミッターは自動的にスタンバイモードになります。多機能ボタン ⏻ ③ は消灯します。スタンバイモードでは、トランスミッターはわずかな電力しか消費しません。トランスミッターは電源に接続したままにしても構いません。

ヘッドホンをオン / オフにする

注意 **大音量による危険！**

大音量で長時間聞くと、長期的な聴覚障害につながるおそれがあります。

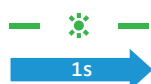
▶ ヘッドホンを装着する前に、音量を下げます。

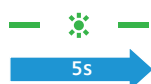
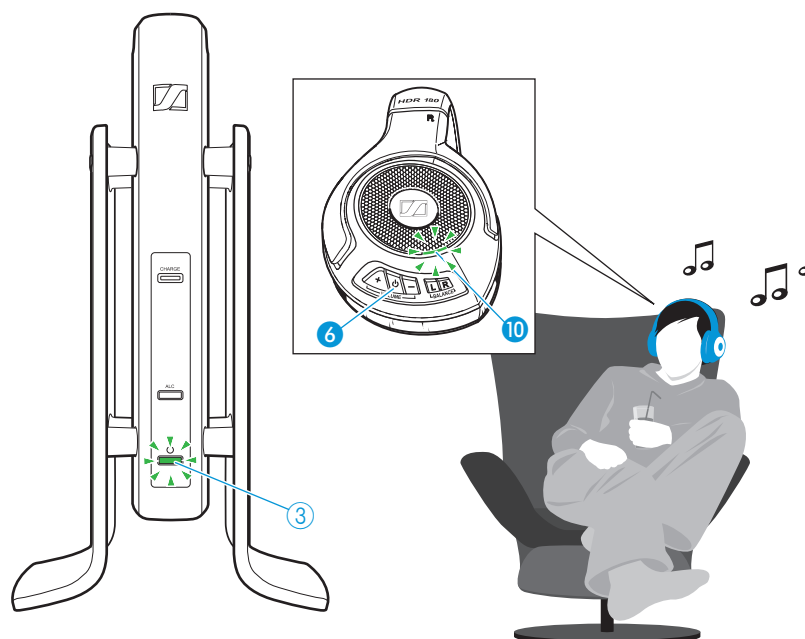
▶ 長時間大音量で聞くことはお止めください。

注意 **磁場による危険！**

ヘッドホンにより磁場が作り出され、心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着者に影響を及ぼす場合があります。

▶ ヘッドホンは、心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器からは最低 3 cm（1.2 インチ）離してお使いください。

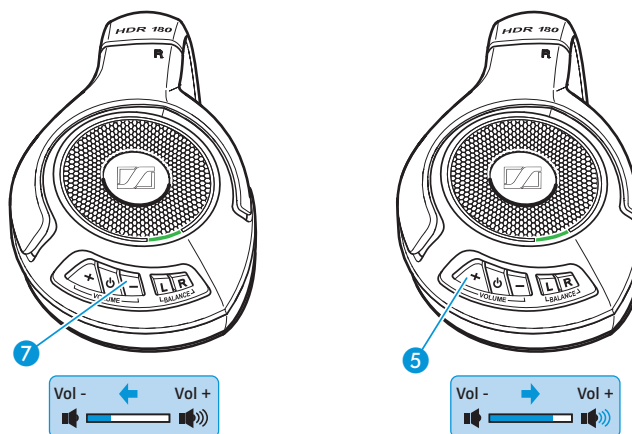
ヘッドホンをオンにする

▶ 多機能ボタン ⏻ ⑥ を約 1 秒間押し続けます。
ヘッドホンがオンになります。多機能 LED ⑩ が緑色に点滅します。
ヘッドホンが適切なトランスミッターを検出します。

5s

ヘッドホンが適切なトランスミッターを検出すると、トランスミッターとヘッドホンが接続して、オーディオ信号を伝送します。ヘッドホンの多機能 LED ⑩ とトランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ がゆっくりと点滅します。

ヘッドホンをオフにする

▶ 多機能ボタン ⏻ ❻ を約 1 秒間押し続けます。
多機能 LED ❿ が消灯します。ヘッドホンはスタンバイモードになります。

ヘッドホンが 5 分を超えてトランスミッターからの信号を受信しないと、ヘッドホンは自動的にスタンバイモードに切り替わります。

ヘッドホンで音量を調整する

▶ VOLUME（音量）– ボタン ❼、または、VOLUME（音量）+ ボタン ❺ を押して、お好みの音量にしてください。

ヘッドホンを消音にする

▶ 多機能ボタン ⏻ ❻ を短く押して、ヘッドホンを消音にしたり、消音を解除します。

RS 180 を個別に調整する

バランスを調整する

バランスで右耳と左耳の音量配分を調整します。バランスを調整して、両方の耳で同じように良く聞こえるようにします。

左耳(L (左)) または右耳(R (右)) の音量配分を上げる :

▶ BALANCE L (バランス 左) 8 ボタン、または、BALANCE R (バランス右) 9 ボタンを押します。

音量を両耳に同等に配分する :

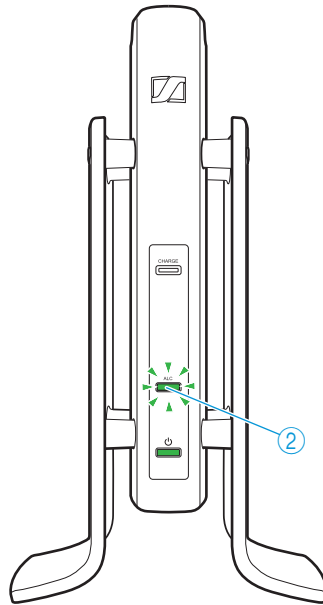
▶ BALANCE L (バランス 左) 8 ボタンと BALANCE R (バランス 右) 9 ボタンを同時に押します。

ALC

ALCは、ダイナミック圧縮で音質を向上させせます（Automatic Level Control (自動レベル制御))。

これによって、音量の大きい違いが伝送で補正されます。低いサウンドの音量を上げて、高いサウンドの音量を下げます。その際には、前景にある音声を検出して、分かり易くします。

ALCをオンにする :

▶ トランスミッターのALCボタン ② を押します。
ALCボタン ② が緑色に点灯します。

ヘッドホンをトランスミッターと接続する

RS 180 システムは、Kleer 社のデジタルワイヤレス伝送技術を採用しています。Sennheiser MX W1 などのその他の Kleer 対応ヘッドホンを トランスミッターと接続することもできます。情報については、次の章、および、対応する製品の取扱説明書をご覧ください。

ヘッドホンとトランスミッターは、出荷時にすでに接続されています。次のような場合は、ヘッドホンをトランスミッターと接続します。

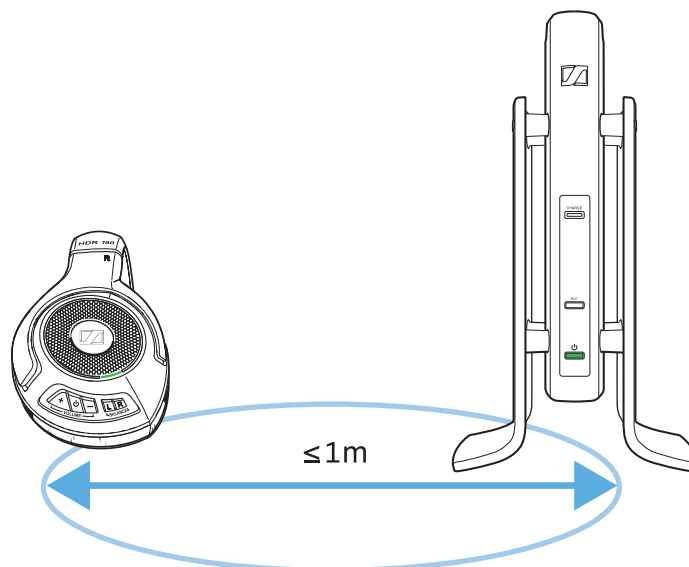
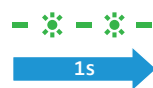
- その他の Kleer 対応ヘッドホンを接続したい場合
- トランスミッターとヘッドホンの接続が近くにある障害物で妨げられる場合

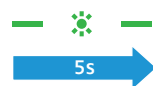
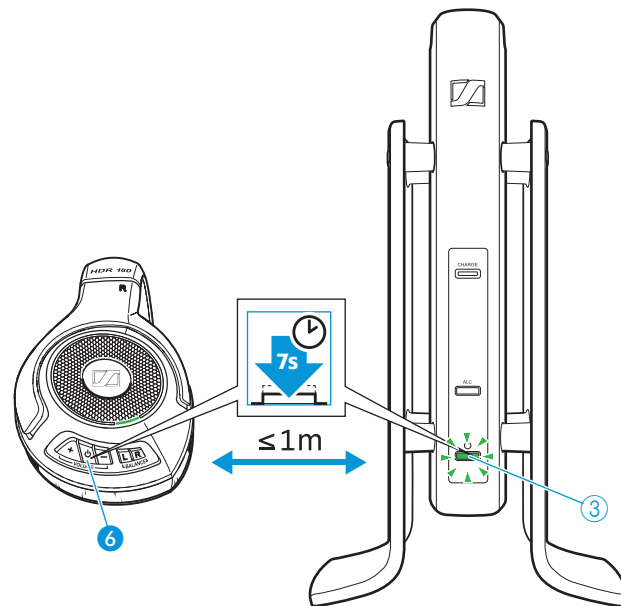
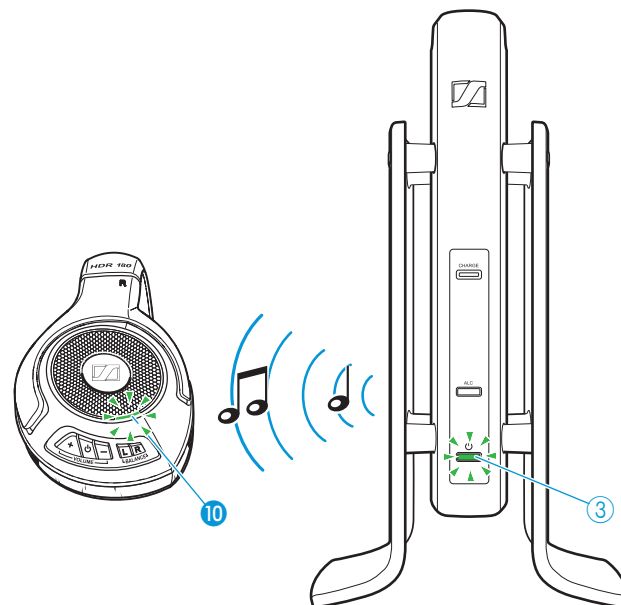
複数のヘッドホンを使用したい場合は、27 ページの「複数のヘッドホンをトランスミッターと接続する」の章を参照してください。

1 台の HDR 180 ヘッドホンをトランスミッターと接続する

ヘッドホンをトランスミッターと接続する際のトランスミッターとヘッドホンの間の最大距離は 1 m です。

▶ トランスミッターとヘッドホンがスタンバイモードになっていることを確認します (20 ページと 22 ページを参照してください)。

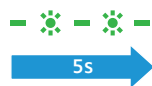
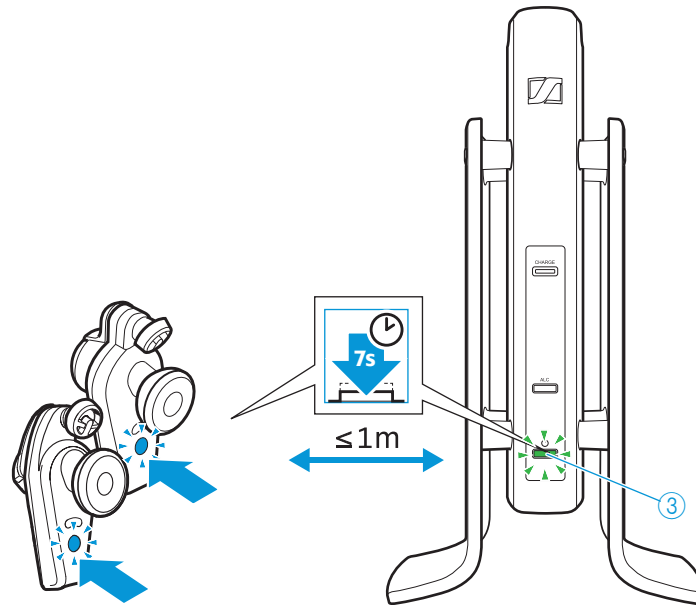
1s

▶ トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ とヘッドホンの多機能ボタン ⏻ ❻ を同時に 7 秒間押し続けます。
トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ が緑色に点滅します。

5s

約 30 秒経過すると、ヘッドホンが自動的にトランスミッターと接続して、オーディオソースを聞くことができます。ヘッドホンの多機能 LED ❿ とトランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ が緑色に点滅します。

その他の Kleer 対応ヘッドホンをトランスミッターと接続する

次の例では、Sennheiser MX W1 ヘッドホンをトランスミッター TR 180 と接続する手順について説明します。

その他の Kleer 対応ヘッドホンをトランスミッターと接続する方法については、対応する製品の取扱説明書を参照してください。

▶ 両方の MX W1 ヘッドホンの動作 / ペアリングボタンを 7 秒間押し続けます。

▶ トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ を 7 秒間押し続けます。

約 30 秒経過すると、MX W1 ヘッドホンが自動的にトランスミッターと接続して、オーディオソースを聞くことができます。トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ が緑色に点滅します。

複数のヘッドホンをトランスミッターと接続する

複数のヘッドホンを同時に使用するには、まず、ヘッドホンをトランスミッターに登録する必要があります。

▶ 次の「ヘッドホンをトランスミッターと接続する」の章にある手順に従います。
最後に登録したヘッドホンだけでオーディオソースを聞くことができます（シングルユーザーモード）。

オーディオソースを同時に最大 4 台のヘッドホンで聞く：

▶ 次の章にある説明に従って、マルチユーザーモードに切り替えます。

複数のヘッドホンを使って同時に聞く

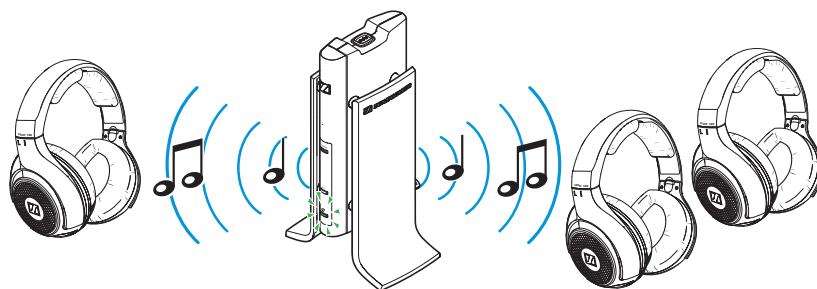
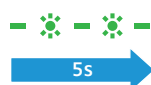
標準では、トランスミッターはシングルユーザーモードに設定されています。オーディオソースを同時に複数のヘッドホンを使って聞くには、トランスミッターでマルチユーザーモードに設定する必要があります。

その際には、追加するヘッドホン用のバランスを調整します。それぞれのヘッドホンの音量は個別に調整できます。

▶ すべてのヘッドホンがトランスミッターと接続していることを確認します（前の章を参照してください）。

▶ すべてのヘッドホンをオンにします（21 ページを参照してください）。

▶ 次に、トランスミッターをオンにします（19 ページを参照してください）。

▶ トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ を押します。
トランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ とヘッドホンの多機能 LED ⑩ が緑色に点滅します。同時に複数のヘッドホンを使ってオーディオソースを聞くことができます。

マルチユーザーモードでトランスミッターの多機能ボタン ⏻ ③ を押すと、トランスミッターはシングルユーザーモードに切り替わります。最後に登録したヘッドホンで引き続きオーディオソースを聞くことができます。その他のヘッドホンの接続は切断されます。

RS 180 のクリーニングとメンテナンスをする

注意 **液体を使うと、製品の電子部品が破損することがあります。**

液体が製品の筐体内に入って、電子部品がショートする原因になることがあります。

▶ いかなる液体も製品に近づけないでください。

▶ 溶剤やその他の洗浄剤は使用しないでください。

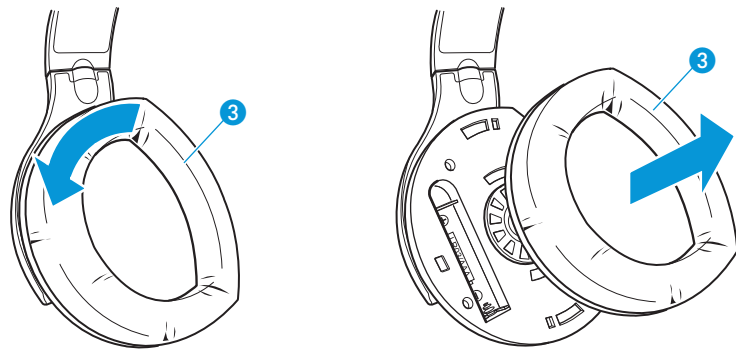
▶ クリーニングの前には、製品をオフにして、トランスミッターを電力網から切断します。

▶ 製品のクリーニングには、乾いた柔らかい布だけをお使いください。

イヤークッションを交換する

イヤークッションは交換することができます。交換用のイヤークッションは最寄りのゼンハイザー代理店でお求め頂けます（32 ページの「アクセサリと交換部品」をご覧ください）。

▶ イヤークッション ③ を矢印の方向に押します。その際には、軽い抵抗があります。

▶ イヤークッション ③ をイヤーカップから取り外します。

▶ 新しいイヤークッションをイヤーカップに取り付けます。

エラーが発生した場合

音の問題

問題	考えられる原因	考えられる対応策	ページ
音が聞こえない	トランスミッターまたはヘッドホンがオフになっています	トランスミッター/ヘッドホンをオンにします	19/21
	ヘッドホンが消音になっています	消音を解除します	22
	プラグが正しく差し込まれていません	プラグを点検します	12
	オーディオソースがオフになっています	オーディオソースをオンにします	–
	オーディオケーブルが破損しています	ケーブルを交換します	–
	トランスミッターとヘッドホンの接続が近くにある障害物で妨げられています	ヘッドホンとトランスミッターを接続し直します	25
		トランスミッターを電源からいったん切断して、接続し直します	16
		バッテリーをいったん取り外して、取り付け直します	17
	ヘッドホンがトランスミッターと正しく繋がれていません（例：別のヘッドホン）	ヘッドホンをトランスミッターと接続します	25
音が一時的に出なくなる	トランスミッターまでの距離が遠すぎます	トランスミッターまでの距離を近づけます	11
	信号が遮られています	トランスミッターとヘッドホンの間にある障害物を取り除きます	11
	近くに妨害する機器があります	位置を変えます	11
音が小さすぎる	オーディオソースの音量が小さすぎます	オーディオソースの音量を上げます	–
	オーディオソースの信号が弱すぎます	アッテネータースイッチ⑦を「0 dB」に切り替えます	13
	ヘッドホンの音量設定が小さすぎます	VOLUME + ⑤ キーを何度か押します	22
音が片側からしか聞こえない	オーディオケーブルが破損しています	ケーブルを交換します	–
	オーディオケーブルが正しく差し込まれていません	プラグを点検します	12

問題	考えられる原因	考えられる対応策	ページ
音がひずむ	オーディオソースの信号がひずんでいます	サウンドソースの音量を下げます	–
		ヘッドホンのVOLUME – ⑦ キーで音量を下げます	22
	オーディオソースの信号が強すぎます	アッテネータースイッチ ⑦ を「–8 dB」に切り替えます	14

その他の問題

問題	考えられる原因	考えられる対応策	ページ
トランスミッターがオンにならない	電力網に接続されていません	差し込み電源ユニットの接続を点検します	16
ヘッドホンがオンにならない	バッテリーが空です	バッテリーを充電します	18
	バッテリーが正しく装着されていません	バッテリーを取り付け直して、極性を確認します	17
ヘッドホンが充電しない	ヘッドホンが充電コンタクトに接触していません	ヘッドホンを充電コンタクトに正しく掛けます	18
		充電コンタクトを清掃します	29
動作時間が短い	バッテリーが消耗しています	バッテリーを交換します	17

一覧に記載されていない問題が発生した場合や、または、一覧に記載されている対応策で問題を解決できない場合は、最寄りのゼンハイザー製品取扱店までお問い合わせください。

アクセサリと交換部品

ゼンハイザー純正アクセサリおよび交換部品のみをお使いください。その他のアクセサリや交換部品を使用すると、製品の品質が劣化したり、製品が故障することがあります。

部品番号	アクセサリ / 交換部品
504252	ヘッドホン HDR 180
534480	国別変換アダプター付き電源ユニット
534486	オーディオケーブル（2 m）
534479	DC ケーブル
093778	変換プラグ 3.5 mm ジャック → 6.35 mm プラグ
514267	RCA ケーブル
534469	イヤークッション （1ペア）

技術データ

システム RS 180

変調方式	MSK デジタル
伝送周波数	2.4 〜 2.48 GHz
通信範囲	障害物のない場所で約 100 m
周囲温度	0°C 〜 40°C

トランスミッター TR 180

オーディオ接続	3.5 mm ステレオジャックソケット
消費電力 (スタンバイモード)	< 0.5 W
電力供給	5 V ⎓、500 mA
送信電力	< 10 mW
質量	約 341 g
寸法	12.5 cm x 10 cm x 23 cm

ヘッドホン HDR 180

形式	耳覆い型オープンタイプ
音圧レベル	106 dB (SPL)
歪み率	< 1 kHz 100 dB SPL で 0.5%
周波数特性	18 Hz 〜 21,000 Hz
バッテリーの充電時間	初回約16時間、次回からは使用時間の約半分
電力供給	単 4 形ニッケル水素バッテリー 2 個、 1.2 V, 600 mAh
動作時間	約 24 時間
質量(バッテリーを除く)	約 209 g

電源ユニット「SSA-4P 5050F」

受信電力	100 〜 240 V~, 0.2 A, 50 〜 60 Hz
定格電力	5 V ⎓, 500 mA
動作温度範囲	0°C 〜 +40°C

製造者宣言

保証

Sennheiser electronic GmbH & Co. は本製品を2 年間保証いたします。
実際の保証サービスについては、保証書をご参照ください。

適合宣言

- RoHS 指令（有害物質使用制限指令）（2002/95/EC）
- WEEE 指令（電気・電子機器廃棄物指令）（2002/96/EC）
- バッテリー指令（2006/66/EC）

CE マーキング適合

- R&TTE 指令（無線および電気通信端末機器指令）（1999/5/EC）
- 電磁両立性指令（2004/108/EC）
- 低電圧指令（2006/95/EC）

宣言書は弊社ウェブサイト www.sennheiser.com でご覧いただけます。
操作を始める前に、各国の規制についてご確認ください。

バッテリー

付属のバッテリーはリサイクルできます。
バッテリーはバッテリーコンテナに廃棄するか、または、専門業者までお持ちください。環境を保護するために、空のバッテリーのみを廃棄してください。

WEEE（電気・電子機器廃棄物指令）宣言

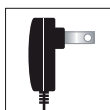
ゼンハイザー製品は高品質素材とコンポーネントを使用して設計、製造されています。ゼンハイザー製品はリサイクル、再利用できます。この記号は、寿命を過ぎた電気製品および電子製品を家庭ごみと分別して廃棄しなければいけないことを意味します。

製品は、お住まいの地域の収集場所またはリサイクルセンターに廃棄してください。環境保護にご協力お願いいたします。

次の規制に準拠します：

米国	FCC（米国連邦通信委員会）ID: DMOTR180 FCC（米国連邦通信委員会）ID: DMOHDR180
カナダ	IC(カナダ産業省): 2099A-TR180 IC(カナダ産業省): 2099A-HDR180
欧州	CE 0560
オーストラリア / ニュージーランド	N340
シンガポール	Complies with IDA Standards DB100582
日本	R 201 WW JN09215289 (ヘッドフォン・HDR 180) R 201 WW JN09215290 (トランスミッター・TR 180)

商標

Kleer ロゴは Kleer Inc の登録商標です。

ENERGY STAR について

ENERGY STAR は米国環境保護庁と米国エネルギー省の共同プログラムです。私たちのコスト節約と、環境保護をサポートしています。